



東京海上セレクト世界株式ファンド (愛称：プレミアムワールド)

追加型投信 / 内外 / 株式

月次報告書

ファンドの特色(詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

主として「東京海上セレクト世界株式マザーファンド」受益証券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行います。

世界的な経済成長や人口増加などを背景に、維持・向上が求められている以下の3つのテーマに関連する世界の株式に投資します。

- ・「環境」：地球温暖化防止、クリーンエネルギーなど
- ・「水・食糧」：水や食糧の安定供給、生産性向上など
- ・「医療・健康」：医療技術、健康増進など

委託会社および委託会社グループの海外拠点によるボトムアップ・アプローチにより銘柄選択を行います。

実質的に組み入れられる外貨建資産に対しては、原則として為替ヘッジを行いません。

設定日	2007年12月6日	信託期間	2027年11月15日まで
決算日	年4回(2月、5月、8月、11月の15日(休業日の場合は翌営業日))		

ファンドの主なリスクについて(詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

当ファンドは、主に国内外の株式など値動きのある証券を実質的な投資対象としますので、基準価額は変動します。

また、外貨建資産に投資する場合には、為替変動により損失を被ることがあります。

投資信託は、**元本が保証されているものではありません。**また、**預貯金や保険と異なります。**

当ファンドへの投資には主に以下のリスクが想定され、これらの影響により損失を被り、**投資元本を割り込むことがあります。**

- | | |
|----------------------------|---|
| 株価変動リスク | ： 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績・財務状況、市場の需給などを反映して変動します。また、発行企業が経営不安、倒産などに陥った場合は、投資資金が回収できなくなることもあります。 |
| 投資対象を特定のテーマに関連する銘柄に限定するリスク | ： 当ファンドは投資対象を「環境」「水・食糧」「医療・健康」の3つのテーマに関連する銘柄に限定しますので、業種・銘柄を分散して投資する場合と比較して、基準価額の変動が大きくなる場合があります。 |
| 為替変動リスク | ： 外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国・地域の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。 |
| カントリーリスク | ： 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化などにより市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想以上に下落したり、投資方針に沿った運用が困難となることがあります。また、新興国においては、取り巻く社会的・経済的環境が不透明な場合があり、投資環境の変化が先進国への投資に比べてより大きなリスク要因となることがあります。 |
| 流動性リスク | ： 受益者から解約申込があった場合、組入資産を売却することで解約資金の手当てを行うことがありますが、組入資産の市場における流動性が低いときには直前の市場価格よりも大幅に安い価格で売却せざるを得ないことがあります。 |

【分配金に関する留意事項】

分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額が下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は必ずしも計算期間における当ファンドの収益率を示すものではありません。受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全額が、実質的には元本の一部払い戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

6ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用：東京海上アセットマネジメント投信

1 / 6 ページ

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>

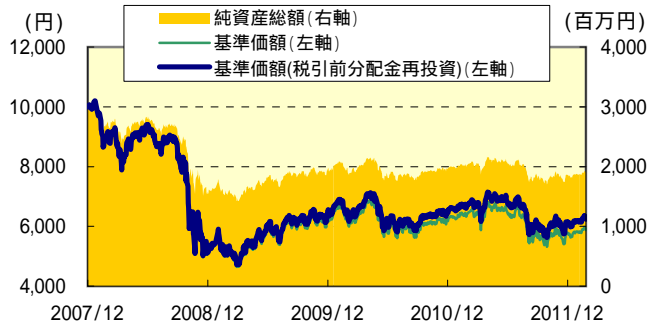


東京海上セレクト世界株式ファンド(愛称:プレミアムワールド) 月次報告書

追加型投信 / 内外 / 株式

基準価額、パフォーマンスなどの状況

基準価額・純資産総額の推移



基準価額は信託報酬控除後のものです。後述の信託報酬に関する記載をご覧ください。
基準価額は1万口当たりで表示しています。
上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
設定日は2007年12月6日です。

基準価額・純資産総額

基準価額	5,876円
純資産総額	1,892百万円

騰落率(税引前分配金再投資、%)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	+1.17	-1.62	-4.70	-5.50	+21.35	-37.58

ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したもとして計算しているため、実際の投資家利回りと異なります。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

2009/2	2009/5	2009/8	2009/11	2010/2	2010/5	2010/8
25円	25円	25円	25円	25円	25円	25円
2010/11	2011/2	2011/5	2011/8	2011/11	設定来累計	
25円	25円	25円	25円	25円	375円	

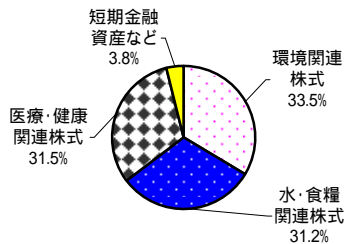
分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。

分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

主要な資産の状況

当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行っており、マザーファンドの資産の状況を記載しています。

投資テーマ別構成



純資産総額 1,898百万円

通貨別構成比率

通貨名	比率(%)
1 米ドル	40.9
2 日本円	14.4
3 ユーロ	11.7
4 英ポンド	10.8
5 カナダ・ドル	4.9
その他	17.2

国別構成比率上位10カ国

国名	比率(%)
1 アメリカ	41.1
2 日本	10.9
3 イギリス	10.8
4 カナダ	4.8
5 香港	4.3
6 フランス	4.2
7 ドイツ	4.0
8 スイス	3.7
9 ニュージーランド	2.5
10 オーストラリア	2.5

投資テーマ別組入上位銘柄

環境関連株式

銘柄名	国名	比率(%)
1 ENBRIDGE INC	カナダ	2.8
2 AGL ENERGY LTD	オーストラリア	2.5
3 TRANSCANADA CORP	カナダ	2.0

医療・健康関連株式

銘柄名	国名	比率(%)
1 PFIZER INC	アメリカ	2.7
2 BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	アメリカ	2.3
3 GILEAD SCIENCES INC	アメリカ	2.2

水・食糧関連株式

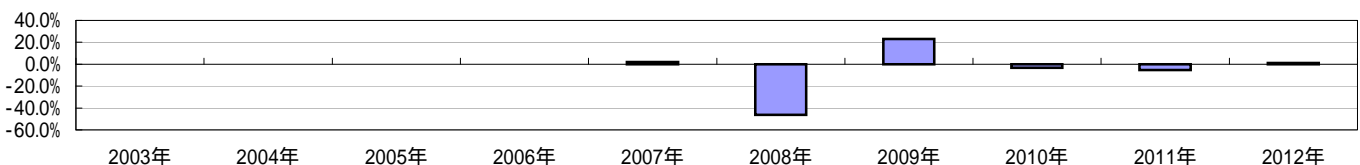
銘柄名	国名	比率(%)
1 HJ HEINZ CO	アメリカ	2.3
2 ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO	アメリカ	1.4
3 SUEDZUCKER AG	ドイツ	1.3

組入銘柄数 112

比率は、純資産総額に占める比率です。

「投資テーマ」分類は、基準日現在の委託会社の判断によるものです。
短期金融資産などは、組入有価証券以外のものです。

年間収益率の推移



当ファンドのベンチマークはありません。

ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資したもとして計算しており、設定日以降を表示しています。

設定年は設定時と年末の騰落率です。当年は昨年と基準日の騰落率です。上記は過去の実績であり、将来の動向などを示唆・保証するものではありません。

6ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント投信

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>



東京海上セレクト世界株式ファンド(愛称：プレミアムワールド) 月次報告書

追加型投信 / 内外 / 株式

投資テーマ別組入上位銘柄概要

環境関連株式

	銘柄名	銘柄概要
1	ENBRIDGE INC	カナダのパイプライン大手。Liquids Pipelinesでの石油関連製品輸送(09年利益の51%)とガス輸送・配送(09年利益の32%)が二本柱。クリーンエネルギー、代替エネルギーに注力。(天然ガス、燃料電池、風力発電等への投資。)
2	AGL ENERGY LTD	豪州最大のガス・電力小売企業。電力に関しては、発電の50%がガス、25%が水力。更に、風力等のクリーン発電を増加させる計画。
3	TRANSCANADA CORP	カナダの天然ガス輸送及び電力供給企業。自社パイプライン網によりカナダ西部の天然ガス生産の大部分をカナダ・米国市場に供給する他、発電と配電も手がける。同社発電設備は、原子力、天然ガス、石炭、水力、風力等多岐にわたる。

水・食糧関連株式

	銘柄名	銘柄概要
1	HJ HEINZ CO	米国の大手食品会社。ケチャップ、ソース、冷凍食品、スープ等多岐にわたる製品群を有しており、50カ国以上においてシェア上位2社に入っている。今後、新興国での売上拡大や業務効率向上による利益率上昇も期待されている。
2	ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO	米国の穀物メジャーで農産物の加工処理における世界のリーディングカンパニー。製油・製粉及びエタノールやバイオ燃料の開発に注力。
3	SUEDZUCKER AG	主に欧州で事業展開するドイツの砂糖製造会社。砂糖製造・精製を主軸に、機能性食品、冷凍食品、澱粉や果実の濃縮物製造、及び植物性エタノール関連事業も手がける。

医療・健康関連株式

	銘柄名	銘柄概要
1	PFIZER INC	米国に本社を置く世界最大の製薬会社。同社のコレステロール降下剤Lipitorは年間売上1兆円を超える巨大製品。短期的には特許失効等が悪材料となる可能性もあるが、規模を活かした製品開発等により長期安定的な成長が見込まれる企業の一つ。
2	BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	米国の治療用酵素製品メーカー。衰弱を伴う致命的な慢性の遺伝子障害や、その他の病気・障害のための糖酵素療法を開発。同社が製品化を目指している酵素補充物質は1型ムコ多糖症の治療を対象としている。
3	GILEAD SCIENCES INC	米国のバイオ医薬品製造販売会社。抗HIV薬では世界の主要シェアを占める一方、買収により抗C型肝炎薬も拡充。

「投資テーマ」分類は、基準日現在の委託会社の判断によるものです。

上記のコメントは、基準日現在の組入銘柄の紹介であり将来変更する可能性があります。



投資信託/総合部門
優秀賞
R&I Fund Award 2011

投資信託/外国株式総合部門
優秀賞
東京海上アセットマネジメント投信株式会社

東京海上アセットマネジメント投信株式会社は、格付投資情報センター(R&I)主催の「R&Iファンド大賞 2011」において、投資信託/外国株式総合部門の優秀賞を受賞しました。

「R&Iファンド大賞」は、過去のデータに基づいたものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、投資の参考となる情報を提供することのみを目的としており、投資家に当該ファンドの購入、売却、保有を推奨するものではありません。また、格付投資情報センターの顧客に対して提供している定性評価情報とは関係ありません。当大賞は信頼すべき情報に基づいて格付投資情報センターが算出したものであり、その正確性及び完全性は必ずしも保証されていません。当大賞は、信用格付行為に関わるものではなく、格付投資情報センターの行う信用格付行為に影響を及ぼすものではありません。当大賞に関する著作権その他の権利は、格付投資情報センターに帰属します。格付投資情報センターの許諾無く、これらの情報を使用(複製、改変、送信、頒布、切除を含む)することを禁じます。「投資信託/総合部門」の各カテゴリーについては、受賞運用会社の当該ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、必ずしも受賞運用会社の全ての個別ファンドそれぞれについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

6ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: **東京海上アセットマネジメント投信**
URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>

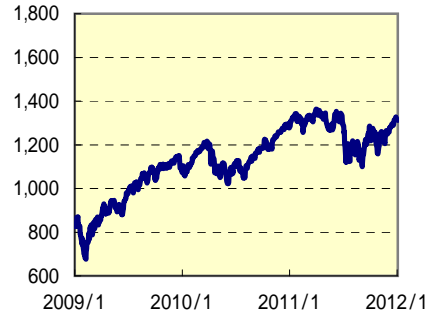


東京海上セレクト世界株式ファンド(愛称:プレミアムワールド) 月次報告書

追加型投信 / 内外 / 株式

主要国の株価・為替の動き(過去3年)

米国(S&P500)



英国(FT100)



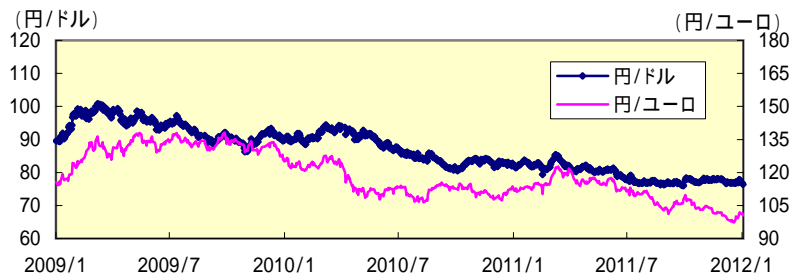
ドイツ(DAX)



東証(TOPIX)



為替



上記は過去の実績であり、将来の動向などを示唆・保証するものではありません。

出所: Thomson Datastream

ファンドマネージャーコメント

投資環境と運用経過

1月の世界株式市場は上昇しました。

月前半は、イタリアの銀行による新株予約権発行を発端として他の欧州系銀行に拡大した株主権利の希薄化懸念や、米国の格付会社による欧州9カ国の格下げをめぐる憶測などのマイナス要因はありましたが、中国や欧州、米国での製造業景況感が事前予想を上回ったことや、米国の堅調な雇用関連統計をきっかけとした世界経済の回復期待などのプラス要因がこれを上回り、小幅上昇となりました。月後半になると、中国の2011年第4四半期の実質GDP(国内総生産)成長率が事前予想を上回り景気に対する安心感が広がったことや、欧州債務問題が懸念される中、欧州各国の国債入札が好調で、ギリシャ国債の損失処理についても問題解決期待が高まったこと、米国の大手IT企業などをはじめとする米国企業などの決算内容が全体として堅調であったこと、FRB(米連邦準備制度理事会)バーナンキ議長が低金利政策の延長を表明し景気に対する下支え効果に期待が集まったことなどから、上昇する展開となりました。

当ファンドでは、基本コンセプトである「環境」「水・食糧」「医療・健康」という3つのテーマに関連する銘柄の選定を行っています。1月は株式市場が上昇する展開となりましたが、相場の上値を抑えていた欧州債務問題について、欧州銀行への資金供給の決定などから最悪期を脱したとの見方に変更しました。加えて米国が低金利政策の延長を表明したことなどから、相場は依然不安定な展開が続くと思われそうですが、過度の悲観は禁物と判断し、「環境」テーマのウェイトを高め、株式組入比率を若干引き上げた結果、月末の株式組入比率は96.2%程度となりました。

今後の見通し

1月は、各国の堅調な景気指標や米国の低金利政策延長を背景とした景気下支え策期待などを受けて、上昇する展開となりました。継続的に株価の上値抑制要因となっている欧州債務問題については、懸案となっているギリシャの債務問題解決に向けた交渉などイベントが残っており解決にはなお時間を要すると見られ、引き続き株価の上値抑制要因となることから、横ばいを想定しています。ただし、同債務問題の解決に向けた取り組みは徐々に進展していることや、米国および新興国の金融緩和や景気刺激策導入への期待などから、相場の上昇余地は十分にあると考えており、引き続き過度の悲観は禁物との姿勢を維持します。

このような環境下、引き続き、下落局面で堅調に推移してきた「医療・健康」、「水・食糧」関連銘柄の組入比率を引き下げる一方で、ポートフォリオ全体の株式組入比率引き上げのタイミングを模索します。個別銘柄については、中長期の観点での業績拡大が期待できるとされる銘柄や、変化する環境下でもキャッシュフロー創出能力が高いと思われる銘柄を丹念に発掘し、割安度を考慮して適宜組み入れを図ります。一方、業績改善期待が低下するとされる銘柄やバリュエーション(投資尺度を測るための指標)が高いと思われる銘柄については組入比率の引き下げを維持する方針です。

当ファンドでは、引き続き基本コンセプトである「環境」「水・食糧」「医療・健康」という3つのテーマに着目し、世界株式市場の動向に注意を払いつつ業績発表内容の精査などにより、中長期成長性や株価水準などの観点からより魅力的な個別銘柄の発掘に取り組む方針です。

6ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント投信



東京海上セレクト世界株式ファンド(愛称：プレミアムワールド) 月次報告書

追加型投信 / 内外 / 株式

お申込みメモ

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- 取得の申し込み : 原則として、毎営業日にお申し込みを受け付けます。
 ただし、お申込日がニューヨーク、ロンドンおよびフランクフルトの証券取引所のいずれかの休業日に該当する日には、受け付けを行いません。
 受付は午後3時までとします。
 受付時間を過ぎてからの申し込みについては、翌営業日受付の取り扱いとなります。
- 申込単位 : 販売会社やお申し込みのコースなどによって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
 お申し込みには、収益分配金の受取方法により以下の2種類のコースがあります。
 <分配金受取りコース>分配金を受け取るコースです。
 <分配金再投資コース>分配金が税引き後、自動的に無手数料で再投資されるコースです。
- 申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金の請求 : 原則として、毎営業日にご換金の請求を受け付けます。
 ただし、ご換金請求日がニューヨーク、ロンドンおよびフランクフルトの証券取引所のいずれかの休業日に該当する日には、受け付けを行いません。
 受付は午後3時までとします。
 受付時間を過ぎてからのご換金請求については、翌営業日受付の取り扱いとなります。
- 換金単位 : 販売会社やお申し込みのコースなどによって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額 : ご換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- 換金代金の支払い : 原則として、ご換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
- 信託期間 : 原則として、2007年12月6日から2027年11月15日まで
 ただし、一部解約により受益権総口数が10億口を下回った場合など、約款で定める所定の事由に該当する場合には、信託を終了させることがあります。
- 収益分配 : 原則として、年4回(2月、5月、8月、11月の15日(休業日の場合は翌営業日))の決算時に、分配方針に基づいて収益分配を行います。
 分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。
 将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。
- 課税上の取り扱い : 収益分配時の普通分配金、換金(解約)時および償還時の差益に対して課税されます。
 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
 税制改正などにより、課税上の取扱内容が変更になる場合があります。

当ファンドにかかる手数料等について

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

申込時に直接ご負担いただく費用

- 取得時の申込手数料 : お申込価額に**3.15%(税抜3%)**の率を乗じて得た額を上限として販売会社が個別に定める額とします。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

換金時に直接ご負担いただく費用

- 換金(解約)手数料 : ご換金(解約)手数料はありません。
- 信託財産留保額 : ご換金請求受付日の翌営業日の基準価額の**0.3%**

投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

- 信託報酬 : 信託財産の純資産総額に対し、**年1.53825%(税抜1.465%)**の率を乗じて得た額
- その他の費用 : 監査報酬(純資産総額に対し、**税込 年0.0105%(上限 年63万円)**)、有価証券売買時の売買委託手数料、信託事務等に要する諸費用などをファンドの信託財産を通じて間接的にご負担いただきます。(監査報酬を除く「その他の費用」は実際の取引などに応じて決まる費用であるため、その料率、金額などを事前に表示することはできません。)

当ファンドの手数料等の合計金額については、保有期間などに応じて異なりますので表示することができません。

6ページの「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご覧ください。

設定・運用: **東京海上アセットマネジメント投信**
 URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>



東京海上セレクト世界株式ファンド(愛称：プレミアムワールド) 月次報告書

追加型投信 / 内外 / 株式

委託会社、その他関係法人

委託会社:東京海上アセットマネジメント投信株式会社

信託財産の運用指図などを行います。

商号等: 東京海上アセットマネジメント投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第361号

加入協会: 社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会

受託会社:中央三井アセット信託銀行株式会社(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)

信託財産の保管・管理などを行います。

販売会社

投資信託説明書(目論見書)のご提供、募集・販売の取り扱い、一部解約事務および収益分配金・解約金・償還金の支払いなどを行います。

商号(五十音順)	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	社団法人 日本証券 投資顧問業協会	社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
東京海上日動火災保険株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第135号				

(当ファンドの照会先)

上記販売会社または下記までお問い合わせください。

東京海上アセットマネジメント投信

サービスデスク 0120-712-016

土日祝日・年末年始を除く9時～17時

当資料のお取り扱いにおけるご注意

当資料は、東京海上アセットマネジメント投信が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申し込みに当たっては必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社までご請求ください。

当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績は、過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

投資信託は、値動きのある証券など(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。

投資信託は金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、全て投資家に帰属します。

投資信託は、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

投資信託は、預金および保険契約ではありません。また、預金保険や保険契約者保護機構の対象ではありません。

登録金融機関から購入した投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。

設定・運用: **東京海上アセットマネジメント投信**

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp>